

加布里っ子だより

文責 校長 伊藤 由美子

かんがえる かしこい子ども
ふれあい つながる子ども
りっぱに やりとげる子ども

◇6年生を送る会～ありがとう6年生～◇

今まで、加布里小のリーダーとして、下級生の面倒を見たり、それぞれの委員会で学校生活をよくするための活動をしたりしてくれた6年生。2月13日(金)の「6年生を送る会」では、そんな6年生に対して今までの思い出を振り返り、在校生から感謝の気持ちを伝えました。



【1年生】歌・呼びかけ
大好きな6年生へ「ありがとう」

入学当初から、6年生にはたくさんお世話になりました。体全体で振付をしたり、元気よく歌ったりすることで、感謝の気持ちをしっかりと伝えました。



【2年生】歌
「感謝をこめて」

入場の態度が、大変立派でした。はっきりとした言葉や力強い歌声から、聞いている方も元気をもらいました。自分たちで考えた振付も大変上手でした。



【3年生】歌・リコーダー
「パフ」「にじ」

1年間のリコーダーの学習の成果を披露しました。「パフ」の優しい音色に癒され、「にじ」を一生懸命歌う姿を見て、こちらも「やる気」がわいてきました。



【4年生】歌
「世界が一つになるまで」

二部合唱のハーモニーがとても美しかったです。「世界が一つになるまで」の曲から、人とつながることの大切さを教えてもらいました。手話も上手でした。



【5年生】歌・リコーダー
「それぞれの空」「威風堂々」

胸を張った入場の姿から、「来年は、自分たちが最上級生になる」という責任感が伝わってきました。難曲「威風堂々」のリコーダーの音が美しかったです。



【6年生】歌・リコーダー
「バトンパス」

さすが、6年生。
息の合ったリコーダー演奏と、美しいハーモニーを聴かせてくれました。加布里小での、6年間の思い出を胸に中学校へ進学してください。

◇いつもおいしい給食、ありがとうございます!給食記念週間◇

1月末から、各学級で給食記念日についての学級指導を行いました。この授業は、給食記念週間を機会に、給食の歴史や仕組みを知り、給食と給食調理員さんをはじめ、給食に携わる人々に対する感謝の気持ちを育てることをねらいとしています。

子どもたち全員で学年ごとに、いつも安全でおいしい給食を作ってくださいる調理員さんや生産者の方にプレゼントや手紙を渡しました。1年生の分は給食室前に掲示してあります。

日本の学校給食は、明治22年に始まり、各地に広がっていききましたが、太平洋戦争の影響などによって中断されました。しかし、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したため、学校給食再開の声が高まり、昭和21年12月24日、東京の一部の学校で学校給食が再開されました。この日は冬休みになることがあるため、1ヶ月後の1月24日を「学校給食記念日」とし、1月24日から30日までを「全国学校給食週間」と定められています。



1年生から
調理員さんへのプレゼント

1月19日の
給食の献立



1月19日(月)
食育の日



◇春はそこまで◇

先週末から今週にかけて、12℃～16℃と温かい日が続いています。校内もよく見ると、梅の花が咲いたり、桜のつぼみが少し膨らんでいたりと、確実に春が近づいてきているのが分かります。6年生はあと1か月ほどで、卒業です。他の学年も1か月と1週間になりました。



学校では、生活面や学習面での1年間の自分の成長を振り返らせ、新しい学年に向けて心構えをつくっていけるよう支援を重ねていきます。